

(1) 次の分数を通分して大きさを比べ、にあてはまる不等号をかきましょう。

① $\frac{2}{5}$ $\frac{1}{3}$

② $\frac{5}{8}$ $\frac{7}{12}$

(2) 次の分数を通分しましょう。

① $\frac{1}{5}$, $\frac{5}{6}$

② $\frac{8}{9}$, $\frac{1}{3}$

③ $\frac{5}{8}$, $\frac{7}{12}$

[]

[]

[]

(3) にあてはまる数をかきましょう。

① $\frac{2}{3} = \frac{12}{\text{$

② $\frac{15}{20} = \frac{\text{$

③ $\frac{2}{7} = \frac{\text{$

④ $\frac{20}{64} = \frac{5}{\text{$

(4) 次の分数を約分しましょう。

① $\frac{12}{36}$

② $\frac{24}{42}$

③ $\frac{20}{50}$

[]

[]

[]

小5 算数「分数」解答・解説

(1) 次の分数を通分して大きさを比べ、 にあてはまる不等号をかきましょう。

① $\frac{2}{5}$ $\frac{1}{3}$

② $\frac{5}{8}$ $\frac{7}{12}$

【解説】それぞれ通分すると

①は $\frac{6}{15}$ と $\frac{5}{15}$ ②は $\frac{15}{24}$ と $\frac{14}{24}$ になります。

(2) 次の分数を通分しましょう。

① $\frac{1}{5}$, $\frac{5}{6}$

② $\frac{8}{9}$, $\frac{1}{3}$

③ $\frac{5}{8}$, $\frac{7}{12}$

$\left[\frac{6}{30} , \frac{25}{30} \right]$ $\left[\frac{8}{9} , \frac{3}{9} \right]$ $\left[\frac{15}{24} , \frac{14}{24} \right]$

【解説】

分母の公倍数をみつけて、それを分母とする分数(分母をそろえる)になおします。

①5と6の最小公倍数は、「30」、②9と3なら「9」、③8と12なら「24」

(3) にあてはまる数をかきましょう。

① $\frac{2}{3} = \frac{12}{18}$

$\frac{15}{20} = \frac{3}{4}$

③ $\frac{2}{7} = \frac{14}{49}$

④ $\frac{20}{64} = \frac{5}{16}$

【解説】分子と分母に同じ数をかけたり、分子と分母を同じ数でわったりします。

(4) 次の分数を約分しましょう。

① $\frac{12}{36}$

② $\frac{24}{42}$

③ $\frac{20}{50}$

$\left[\frac{1}{3} \right]$

$\left[\frac{4}{7} \right]$

$\left[\frac{2}{5} \right]$

【解説】約分するには、分子と分母の最大公約数で分子と分母をわります。

最大公約数は、それぞれ①は12、②は7、③は10です。